®日本函特許庁(JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭64-35683

@int,Cl.4 G 07 D 9/00 G 06 F 15/30 織別記号 321 庁内整理番号 2-6929-3E D-7208-5B 砂公開 昭和64年(1989)2月6日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

②発明の名称 現金自動取扱い装置

②特 頭 昭62-190002

@出 願 昭62(1987)7月31日

皮 三

愛知県尾張旭市嗜丘町池上1番地 株式会社日立製作所起

工場内

切出 頤 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

の代 選 人 弁理士 小川 勝男 ク

外1名

夠 顓 奪

- 1. 発明の名称現金自動取扱い装飾
- 2. 冷許請求の韓国
- 5 発明の詳細な説明

(随 数 上の 利 用 分 野)

本発明は低格および緩慢を取扱う発金自動取扱い数理に繰り、特に無格および硬質の取扱い操作 候向上に好遇な現金自動取扱い海径に関する。 (微米の技術)

逆来の装置は低幣および硬貨の取扱いを行なり 装置であっても、低幣を放送り入出金口と硬質を 取扱り入出金口は関度に設けられていた。しかし 入金額には抵幣と硬貨を分けてそれぞれの入出金 口に入れる平間がかかる。自会時にも抵幣と硬貨 を親臨の入出金口から取出す手間と、2つの入出 金口があるため、放忘れる毎放が発生しやすいと いうこれ等の点については配慮されていなかった。 なお、この酒の設置として関連するものには例え は特別的57~097460号、同58~228405号 が挙げられる。

(須明が解決しようとする瞬段点)

上記述表技術は、無常および便貨の人会、出金の顧客の取扱い機作の容易化について配慮されておらず、入金時には紙幣と優賞を分けて別館の人

特開昭64-35683 (2)

出金口に入れる野湖や、出金時にも新疆の入出金口から取出す野間や、収ぶれる顕故が発生しやすいという問題があった。

本発明の目的は、紙幣および護貨の取扱い操作を容易化することにある。

〔 関始点を形成するための事 段 〕

上記目的は紙幣および競貨の入出金目を一つの人出金目とし、入出金目より投入された紙幣および競貨を置別する週別機器と選踢された紙幣と發鍵をそれぞれ紙幣取扱い規則と超貨取扱い機能に避送する提送を設け、また出金時には紙幣を紙幣取扱い機構から入出金口へ、硬貨を展貨取扱い機構から入出金口へ規送する機造路を設けることにより南瓜される。

(作用)

遊別機関は入出金目に投入された紙幣と選貨を くし做状の底板で受け、これを提動させることに より観覚のみをくし選状の色板よりふるい器し、 硬度入金鐵送路より運覚取扱い機構に敷造され、 くし世状の底板に接った紙幣は紙幣入金販送路よ

からの断慮図を示す。 10 は 人出会口の上部に配 投され、C-D方向に回転可能なシャッタであり、 11 は入出金目の下部に配表されB→ F方向に 餌転破動可能な、くし歯状の患板 12 を 有する 遺 別勘視である。入出金□2は紙幣を場内しひ↔目 方向に回版可能な前板 13 と前板 13 の方向に入出 金口2 に投入された紙幣 t4 を増圧する押収 15 と 経習14を紙幣入金額送路るへ送り出すビックブ ップローラ 16 および紙幣 14 を 1 枚づつ分離する フィードローラ 17 , グートローラ 18 およびこれ らを影動する関系されない蝦動園構より構成され ている。また人比金口2と紙幣単金機送路の間に は羽袋車 19 が 配 数されている。前記遵別機構は の下部には便賀入金数送路18が配設され、この 間には無内ガイド 284 。200 が起設されている。 また、現役人金衆送路1と発貨取扱い証明4の問 には弱内ガイド 214 , 21) が配設されている。頭 貨出金銀港路?は複数線の奨報22を有するべん ト 23 で得成されており、入出金目 2 との倒には 異内ガイド 24 が態 設されている。また、入出念 り紙幣収扱い機構に激送される。それによって入 金口に投入された紙幣と頻度は遵親機械により研 実に遵例分類される。

[突旋纫]

以下、本発明の一束病例を第1~第4個により 説明する。第3回は紙幣および倒貨を取扱う現金 自動取扱い装腹1の外親国である。2は紙幣およ び原建の投入および払出しを行なう入出金目であ り、5は紙幣取扱い機構、4は侵貨取扱い機関を 示す。第4回は各重異の規則を示すプロック図で ある。入出金口2に投入された紙幣および便貨を 弾別する避別機構 5 が入出会口 2 に凝接して設け られ、この選別機構らにより選別された紙幣を紙 特別級い機構を圧脱送する紙幣入金換送路6およ び激別機構を足より選別された顔貨を硬貨取扱い 機構4に激送する麗貨人金換送終1が設けられ、 また紙幣収扱い機構るより入出金口2には紙幣出 金数選路8、競貨取扱い機構4より入出金口2に は幾貫出金頭送路りが設けられている。また、第 1四、弟の図はそれぞれ弟も図のA方内、B方向

口 2 と 遭別 顧 標 11 の 間 に I → J 方向に 出入れ 可 能に 構成された 平底板 25 が 配 数 されている。

次に本務場による動作を想明する。銀行利用答 が預入れを行なり場合、競人の指示によりシャッ メ10 が C 方向に関くので、紙幣および運貨をま とめて大出金口 2 に投入する。顧客練作もしくは 自動でシャッタ 10 が D 方向に関じると、選別機 機 11 の底板 12 が数示されない転動機能により 8

下方向に回転設飾し、爰賀26がくし始の問から護伐入金鐵送路7へかあい落される。この始とさ、前被13 は G の方向に図示されない起動機構により設定され、探板15 は照示されない起動機構により低板13 , 押板15 から、米内ガイド204 , 206 な透して改変化変投入金玻送路7 に実内されたとはなりにである。滑別機構11 による選別動作が終了すると経路14 は押板15 により前後15 の方 に回転しいのある。滑別機構11 による選別動作が終了すると経路14 は押板15 により前後15 の方 に回転し、前板13 刻の紙幣14 より履次ピックアック

特開館64-35683 (3)

ーラ t5 , フィードローラ 17 , ゲートローラ 1B により紙幣入金幣送路6へ送られ、國示されない 超動語解により経幣人金搬送路6が駆動され紙幣 14 は 紙 幣 取 扱い 機関 5 へ 搬送される。また、 健 貸 26 は 図 示 されない 彫動機器により硬貨人金蔵 送問?が駆動され、顕異取扱い機構4へ翼内ガイ ド 21ca、 25c により案内されて数送される。 私出 しを行なり場合、私出しの指示により平底板25が I 方向へ移動し、入出金口2 と週別機構 (1 の 懸 板12の間に入り、入出金口2の下面を閉じる。 次に紙幣取扱い機能3より紙幣出金漿送路8へ撥 送された紙幣は4は、図示されない脳動機制によ り経幣出金額送路 8 と羽根 単19 が転動されて、入 出金目2の後方に根溢される。被送が修了すると 押献15がK→し→ほと移動し、接種された紙 幣 14 の後方に移り、次に揮版 15 × M → L → K と移動することにより紙幣14は入出金口2に収 的される。この提版 15 の 移動は 図示されない 配 動機器によって行なわれる。このとき前板13はほ の方向に設定されている。また、競貨は緩貨取扱

7

(発別の効果) 本発明によれば一つの人出金口で紙幣, 硬質を同時に取扱うことができるので、紙幣と健慢を分けて入れる手間や、強個の人出金口から取出す平網や、取ぶれる果故が関心でき、銀行利用客の收扱い機作答為化に大きな効果がある。

い機構により硬貨出金繳蒸路を改送られ、図示さ

れない影動鬼棒によりベルト 23 が N 方向に影動

され、このベルトに育する機数膜の突囲 22 の間

に競貨 27 が次々と乗せられ、家内ガイド 24 を遊

して入出金口をへ搬送される。このようにして入

出金口2へ抵於14と硬度27はまとめて収納され

る。次にシャックをC方向に関き、銀行利用省に

紙幣間貿集とめて私使しをする。本実範例によれ

は、一つの入出金口で紙幣、頭貨まとめ賃金、払

戻しができるという効果がある。耐息払戻し時、

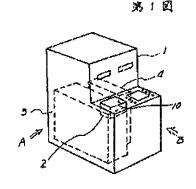
松幣の次に頭貨を並戻したが、これは問時でもよ

くまた、無理を先にしてもよい。

4. 四頭の簡単な説明

第1 図は本発界の一実際例の規章自動取扱い数

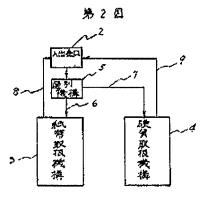
他の外輪磨、第2回は構成 コック圏、第5回は本発明の一実施例の A方向前面図、第4図は第1回の日方向断 る。



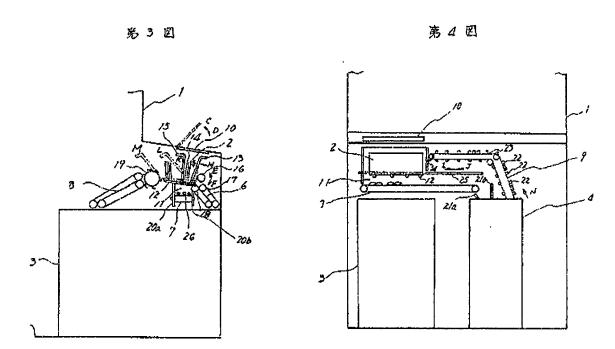
3…我幣說很小稅筷 4… 腰比饭饭、稅床 5… 空刊稅筷 6… 稅稅人全根設的 7… 疑負人会搬送時 8… 稅稅已会搬送路

9--- 使莫太金雅运路

2... 入出企口



排開昭64-35683 (4)



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

62-221773

(43) Date of publication of application: 29.09.1987

(51)Int_CI.

G06F 15/30

G06F 15/30

G06K 15/16

G07D 9/00

G07F 7/08

G07F 9/00

// B41J 13/26

(21)Ap plication number : 61-254495

(71)Applicant: OMRON TATEISI ELECTRONICS

CO

(22)Da te of filing:

24.10.1986

(72)Inventor: TERADA HIROHIKO

MORISHITA MUNEKI

(30)Priority

Priority number: 60257503

Priority date : 15.11.1985

Priority country: JP

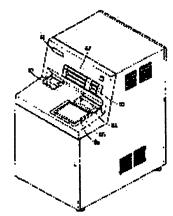
(54) AUTOMATIC TELLER MACHINE

(57)Ab stract:

PURPOSE: To eliminate useless waiting time for customers by producing a deposit receipt of a medium in case it is impossible to return the medium like a card, a bankbook, etc., to a customer owing to occurrence of a fault.

CONSTITUTION: A remote supervising device RMC 4 is set at a master store 1 of a banking organ; while an RMC 5 and an automatic teller machine ATM 6 are provided to a slave store 2. A customer control panel of the ATM 6 has a bankbook slot 62. a card slit 63, a note slit 64, a CRT 56 and a coin port 67. If a card jam occurs, a control part of the ATM 6 transmits a fault telegram and the RMC 4 sends an action indicating telegram. Then the control part of the ATM 6 print out a deposit receipt, collecting the card, applying a resetting action while holding the card or returns the card according to the action indicating





contents. When the card is collected, the deposit receipt is printed and delivered through the slot 62.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]